

令和6年7月大雨災害

7月の記録的な大雨では、これまで経験したことの無い規模の災害となりました。改めて被災された皆様からのお見舞い申し上げます。尾花沢国道管内でも土砂流入等による被害を受け、各所通行止めの際には大変ご不便をおかけしました。ご協力いただきありがとうございました。現在は国道13号、47号ともに応急復旧を終え、通行が可能となっております。今後も皆様にとって安心、安全な道路管理を行ってまいります。

■ 国道47号 最上町瀬見地区被災状況

・ 7/25 (木) 12:40~
全面通行止め開始

・ 7/29 (月) 14:00~
片側交互通行に移行



■ 国道13号 猿羽根トンネル被災状況

・ 7/26 (金) 0:30~
全面通行止め開始

・ 8/4 (日) 10:00~
片側交互通行に移行



水害時の自動車走行

浸水深が大きくなると、歩行や自動車の走行に支障を来し避難行動が困難になります。自分は大丈夫と決して過信することなく、情報を収集し、早い段階での避難に努めて下さい。また、車での避難はなるべく控え、徒歩での避難か、なるべく頑丈な建物の2階以上へ垂直避難をしましょう。

浸水深	自動車走行中の被害
0~10cm	走行に関し、問題はない。
10~30cm	ブレーキ性能が低下し、安全な場所へ車を移動させる必要がある。
30~50cm	エンジンが停止し、車から退出を図らなければならない。
50cm~	車が浮く。また、パワーウィンドウ付きの車では中に閉じ込められしまい、車とともに流され非常に危険な状態となる。